

**製品名: GRIA2 マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM81148**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	98.8kDa

## 抗原情報

遺伝子名	GRIA2
別名	GluA2; GluR2; glur-B; GluR-K2
遺伝子 ID	2891.0
SwissProt ID	P42262
免疫原	大腸菌で発現したヒト GRIA2 (AA: 652-807) の精製された組み換え断片。

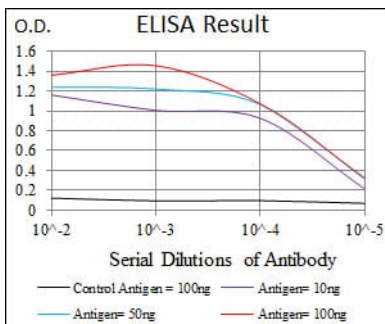
## 背景

グルタミン酸受容体は、哺乳類の脳において主要な興奮性神経伝達物質受容体であり、様々な正常な神経生理学的プロセスにおいて活性化されます。この遺伝子産物は、 $\alpha$ -アミノ-3-ヒドロキシ-5-メチル-4-イソキサゾールプロピオネート (AMPA) に感受性のある

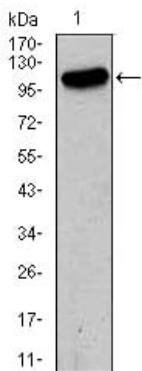
グルタミン酸受容体ファミリーに属し、リガンド活性化陽イオンチャネルとして機能します。これらのチャネルは、4つの関連サブユニット、Gria1~4から構成されています。この遺伝子によってコードされるサブユニット（Gria2）は、RNA編集（Q/RおよびR/G）の対象であり、これによりチャネルはCa(2+)を透過できなくなり、ラット脳におけるこれらのチャネルの運動特性に影響を与えられていると考えられています。この遺伝子では、選択的スプライシングにより、異なるアイソフォーム（フリップおよびフロップ）をコードする転写産物バリエーションが生じることが知られています。

## 研究分野

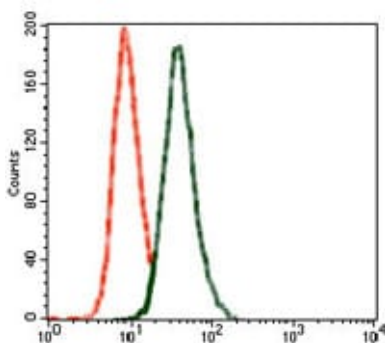
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



GRIA2 マウス mAb を用いた HeLa (1) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



GRIA2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した SK-N-SH 細胞のフローサイトメトリー分析。